

第 2 版 2019年9月20日作成

1996年4月1日から2017年12月31日までに、当院で甲状腺腫瘍の診断と治療（甲状腺全摘をしていない手術）を受けられた方へ

－「残存葉を有する甲状腺腫瘍術後患者の抗サイログロブリン抗体の変化についての検討」へのご協力のお願い－

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	特任教授	田中克浩
研究分担者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	教授	紅林淳一
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	山本 裕
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	野村長久
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	小池良和
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	大学院生	齋藤 互
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	大学院生	岸野瑛美
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	三上剛司

1. 研究の概要

甲状腺腫瘍に対して手術を施行し、残存甲状腺のある患者さんで抗サイログロブリン抗体の推移についてカルテベースで検討します。採血データと手術時の病理検査所見との関係についてもカルテベースで検討し、術後に残存葉がある甲状腺腫瘍患者さんでの抗サイログロブリン抗体の変化を知ること、変化に及ぼす因子を決定することが目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1996/4/1から2017/12/31までに当科で手術を施行し残存葉のある約200名です。

2) 研究期間

2018年8月13日～2020年3月31日

3) 研究方法

1996/4/1 から 2017/12/31 までに当科で甲状腺腫瘍に対して手術を施行し、残存甲状腺のある患者さんで抗サイログロブリン抗体の推移についてカルテベースで検討します。採血データと手術時の病理検査所見との関係についてもカルテベースで検討し、術後に残存葉がある甲状腺腫瘍患者さんでの抗サイログロブリン抗体の変化を知ること、変化に及ぼす因子を決定することが目的です。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：TSH, FT4, サイログロブリン、抗サイログロブリン抗体

試料：手術時の摘出した組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学乳腺甲状腺外科教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施設可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

い。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 26201、平日 13:00-17:00)
研究責任者 : 川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学 特任教授 田中 克浩

3. 資金と利益相反

利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間接的な関係を含むものです。本研究は資金を必要としていません。このことを利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。